

令和5年度「植物バイオテクノロジー (コースII)」 シラバス	単位数	2単位
	学科・学年・学級	園芸工学科 第2学年 2組

1 学習の目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、植物に関するバイオテクノロジーを農業の各分野で活用するために必要な資質・能力を身に付ける。

2 学習到達目標等

学習の到達目標	①植物バイオテクノロジーについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 ②農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ、創造的に解決する力を養う。 ③農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
使用教科書・副教材等	「農業と環境」実教出版

3 履修に際してのアドバイス・注意事項

- ・植物バイオテクノロジーについて、座学、実習を通して知識、技術を習得することになります。生物工学施設の室内での実験はもちろん、ハウスを含めた圃場での実習もあります。
- ・授業では、植物バイオテクノロジーの知識、技術を習得するのは当然ですが、どのように植物バイオテクノロジーが社会で利用されているのか、なぜ社会が必要とされているのかについて学びます。履修する皆さんは自分から積極的に学ぶことはもちろん、他者の意見も取り入れながら視野を広げてほしいと思います。
- ・評価に関して授業でのワークシート、レポート、定期テスト、パフォーマンステストも評価へ反映されます。
- ・コース I と違う点は、履修時間となります。施設野菜コース、施設草花コースの履修対象となり履修時間が少なくなりますが、植物バイオテクノロジーについて学ぶことができます。

4 科目全体の観点別評価の基準及び評価の方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価配分の合計
趣旨	植物バイオテクノロジーについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	植物バイオテクノロジーに関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	植物バイオテクノロジーについて特質を理解し、農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	